

- 【1】 「保健室経営計画作成の手引」(平成26年度改訂 公益財団法人日本学校保健会)に示されている学校保健計画と保健室経営計画について、表中の空欄(a)～(e)にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ書きなさい。

| | 学校保健計画 | 保健室経営計画 |
|-----|---|---|
| 推進者 | (a) *役割分担して組織的に活動を推進 | 養護教諭が中心 |
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健活動の年間を見通して、「保健教育」「(b)」「組健活動」の3領域について立てる総合的な基本計画 ・な基本計画 ・単年度計画 ・学校経営の(c)に位置付け、(c)を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・(d)等踏まえた上で、保健室経営の目標に対して、計画的、組織的に運営するための計画 ・養護教師の職務(役制)と保健室の(e)を踏まえた計画 ・単年度計画 ・保健室経営目標に対する(c)を実施 |

- 【2】 次の文章は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」(平成21年3月 文部科学省)に示されているものの一部である。文章中の空欄(a)～(j)にあてはまる最も適切な語句や数字をそれぞれ漢字で書きなさい。

<健康観察の目的>

- ア 子どもの心身の健康問題の早期発見・早期対応を図る。
 イ 感染症や食中毒などの(a)を把握し、感染の(b)や予防を図る。
 ウ 日々の継続的な実施によって、子どもに(c)の健康に興味・関心をもたせ、(d)の育成を図る。

<健康観察の法的根拠>

学校保健安全法 第(e)条

養護教諭その他の職員は、相互に連携して、(f)又は児童生徒等の健康状態の(g)な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、(h)なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その(i)に対して必要な(j)を行うものとする。

- 【3】 「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践」(平成30年度改訂版 文部科学省)について、次の問いに答えなさい。

- 1 教室の照度は、児童生徒等の机上で測定するが、教室内の何カ所で測定するとされているか書きなさい。
- 2 照度を測定する際、測定者は着衣についてどのようなことに留意したらよいか書きなさい。また、その理由についても説明しなさい。

- 【4】 次の文章は、「外部講師を活用したがん教育ガイドライン（令和3年3月一部改訂 文部科学省）」「第2章 外部講師を活用したがん教育の進め方 Ⅰ がん教育の進め方の基本方針」の一部を抜粋したものである。文章中の空欄（ a ）～（ e ）にあてはまる最も適切な語句を、あとの【語群】からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

外部講師を活用したがん教育の進め方の基本方針

- ① 講師の（ a ）やこれまでの（ b ）が十分に生かされるよう工夫する。
地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医、がん患者やがん（ b ）者等など、それぞれの（ a ）が十分生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施する。
- ② 学校教育活動全体で（ c ）の一環として行う。
保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって（ c ）の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。
- ③ 発達段階を踏まえた指導を行う。
小学校では、主としてがんを通じて健康と（ d ）の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、（ e ）根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。その際、各校種のねらいを踏まえ、発達段階を考慮し、外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。

【語群】 ア：健康教育 イ：科学的 ウ：学際 エ：経験 オ：保健主事
カ：実践的 キ：薬 ク：健康管理 ケ：専門性 コ：命

【5】 次の問いに答えなさい。

- 1 思春期の心の健康について、次の文章中の空欄（ a ）～（ e ）にあてはまる最も適切な語句を、あとの【語群】からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

思春期は、心身ともに成人に向けて発達する時期である。生物学的にも極めて不安定な時期にあり、心の発達を支える（ a ）系が大きく成長を遂げる時期でもある。とくに脳の重さに注目すると、身長伸びが止まってからも脳は重くなり続け、22～23歳頃までは成長発達を続けているという。また、思春期は人生の発達段階としても新たな刺激に富んでいると共に、社会関係が拡大し、また（ b ）への希望や重圧が交錯するなど、（ c ）環境変化の活発な時期でもある。そんな思春期の心の健康を考える際に、（ d ）への理解を外すことはできない。これらの（ d ）の好発年齢は、（ e ）歳くらいまでとされる。

【語群】 ア：悪性新生物 イ：経済的 ウ：脳神経 エ：7～12 オ：精神疾患
カ：将来 キ：15～30 ク：過去 ケ：生殖器 コ：心的

- 2 次の文章は、災害や事件・事故発生時における子どものストレス症状に関するものである。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、災害や事件・事故が発生しており、子どもたちの心身の健康に大きな影響を与えている。災害等に遭遇し、強い恐怖や衝撃を受けた場合、ストレス症状が現れることが多い。

幼稚園から小学校低学年までは、腹痛、嘔吐、食欲不振、頭痛などの（ a ）症状が現れやすく、それら以外にも興奮、混乱などの（ b ）不安定や行動上の異変（落ち着きがなくなる、理由なくほかの子供の持ち物を隠す等）などの症状が出現しやすい。

小学校の高学年以降（中学校、高等学校を含む）になると、（ a ）症状とともに、元気がなくなって引きこもりがちになる（（ c ）状態）、ささいなことでも驚く、夜間に何度も目覚めるなどの症状が目立つようになり、大人と同じような症状が現れやすくなる。

災害や事件・事故発生時における子どものストレス反応はだれでも起こり得ることであり、ストレスが強くない場合には、心身に現れる症状は悪化せず数日以内で消失することが多いが、激しいストレスにさらされた場合は、急性ストレス障害や心的外傷後ストレス障害等を発症することがある。

（1）文章中の空欄（ a ）～（ c ）にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ書きなさい。

（2）文章中の下線部について、簡潔に説明しなさい。

【6】 次の問いに答えなさい。

1 次の表は、意識レベルを判定する「ジャパンコーマスケール（JCS）」の一部である。

(1) 空欄（ a ）～（ d ）にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ書きなさい。

| 刺激しないでも（ a ）している状態 | | |
|----------------------------|----|---------------------------------|
| I | 1 | 大体意識清明だが、今ひとつはっきりしない |
| | 2 | （ b ）障害がある |
| | 3 | 自分の名前、（ c ）が言えない |
| 刺激すると（ a ）する状態－刺激をやめると眠り込む | | |
| II | 10 | 普通の呼びかけで容易に（ d ）する |
| | 20 | 大きな声または体を揺さぶることにより（ d ）する |
| | 30 | 痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すとかろうじて（ d ）する |

(2) 小学6年男子児童が、昼休みに教室の窓枠に座って友人と話をしており、バランスを崩して2階の教室から1階地面に転落し頭部を強打した。頭部、その他の部位からの大量の出血は見られないが呼びかけに反応しない状態で、痛み刺激を加えると手で払う動作がある。この時の意識レベルをジャパンコーマスケール（JCS）で判定し書きなさい。

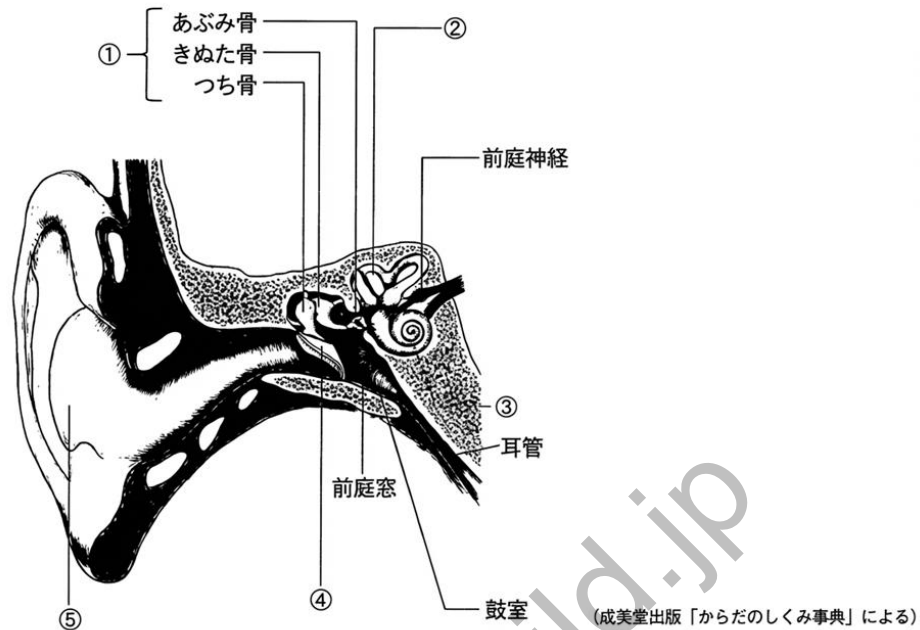
2 足関節を捻った子どもが保健室に来室したため、捻挫や骨折、靭帯損傷を疑い応急処置を行うことにした。応急処置の基本であるRICE処置について、具体的な4つの処置の内容をそれぞれ漢字二字で書きなさい。また、RICE処置の効果について簡潔に説明しなさい。

【7】 次の文章が正しければ○、誤っていれば×をそれぞれ書きなさい。

- 1 日本における梅毒の年間報告数は、2013年から2023年の10年間で半減している。
- 2 エイズは、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）を病原体とする性感染症である。
- 3 日本における性器クラミジア、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の、2020年における年齢階級別報告数では、40歳から44歳が最も多い。
- 4 避妊には、いくつかの方法があるが、一般的にはコンドームや低用量ピルが利用されており、どちらも性感染症に対する予防効果も十分に得られるものである。
- 5 血液中のHIV抗体の有無を調べるHIV抗体検査は、感染の可能性のあった機会から1週間以内に受けることが望ましい。
- 6 ヒトパピローマウイルス（HPV）は、子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっている。

【8】 次の問いに答えなさい。

1 次の図は、耳の構造を模式的に示したものである。図中の①～⑤の名称をそれぞれ漢字で書きなさい。



2 聴力検査について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、難聴について述べたものである。文章中の空欄 (a) ~ (g) にあてはまる最も適切な語句をあとの【語群】からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

大気を伝わってきた音は (a) や (b) で増幅されて (c) に到達する。(c) では (d) の働きて音は電気的な信号に変換されて (e) を経由して、大脳の (f) で認識される。この (g) のどこかに障害が起こると、聴力 (聞こえ) の障害が起こる。この聴力の障害を難聴という。

【語群】 ア：感覚細胞 イ：中耳 ウ：外耳道 エ：聴中枢 オ：聴覚経路
カ：内耳 キ：聴神経

(2) 学校における聴力検査で使用する器具の名称を書きなさい。

(3) 選別聴力検査に用いる2種類の音の検査音の高さと音量をそれぞれ書きなさい。

(4) 再検査を実施したある生徒のそれぞれの検査音の高さにおける音量の閾値は、次の【結果】であった。この生徒の平均聴力レベルを求めなさい。

【結果】 500Hz の閾値 35dB、 1000Hz の閾値 40dB、 2000Hz の閾値 50dB、 4000Hz の閾値 60dB

養護教諭 正答例

【1】 10点

| | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|----|---|------|---|----|
| a | 全教職員 | b | 保健管理 | c | 評価 | d | 教育目標 | e | 機能 |
|---|------|---|------|---|----|---|------|---|----|

【2】 20点

| | | | | | | | | | |
|---|--------|---|------|---|------|---|----|--|--|
| a | 集団発生状況 | b | 拡大防止 | c | 自他 | | | | |
| d | 自己管理能力 | e | 九 | f | 健康相談 | | | | |
| g | 日常的 | h | 遅滞 | i | 保護者 | j | 助言 | | |

【3】 9点

| | | | | | | | | | |
|---|-----|----------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 1 | 9か所 | | | | | | | | |
| 2 | 留意点 | 服装は、光を吸収する黒っぽいものを着用する。 | | | | | | | |
| | 理由 | 白っぽいものは光を反射し、実際より限度が高くなることもあるから。 | | | | | | | |

【4】 5点

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | ケ | b | エ | c | ア | d | コ | e | イ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

【5】 12点

| | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|----|---|----|---|----|---|---|---|
| 1 | a | ウ | b | カ | c | コ | d | オ | e | キ |
| 2 | (1) | a | 身体 | b | 情緒 | c | うつ | | | |
| | (2) | 実際に危うくて死にそうなきごを体験したり目撃したりしたあとで、再体験症状・回避症状・過覚醒症状などが、できごとの後1か月以上にわたり認められ、生活に支障を来しているもの。 | | | | | | | | |

【6】 17点

| | | | | | | | | | |
|---|----------------------------------|-------|----|----|-----|----|------|----|----|
| 1 | (1) | a | 覚醒 | b | 見当識 | c | 生年月日 | d | 開眼 |
| | (2) | Ⅲ-100 | | | | | | | |
| 2 | R | 安静 | I | 冷却 | C | 圧迫 | E | 挙上 | |
| | 効果：痛みをやわらげ、内出血、腫れを最小限に抑えて治療を早める。 | | | | | | | | |

【7】 6点

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | × | 2 | ○ | 3 | × | 4 | × | 5 | × | 6 | ○ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

【8】 21点

| | | | | | | |
|---|---------------------------------|-----|---|------|---|----|
| 1 | ① | 耳小骨 | ② | 三半規管 | ③ | 蝸牛 |
| | ④ | 鼓膜 | ⑤ | 耳介 | | |
| 2 | (1) a ウ b イ c カ d ア e キ f エ g オ | | | | | |
| | (2) オーディオメータ | | | | | |
| | (3) 1000hz 30db 4000Hz 25dB | | | | | |
| | (4) 41.25dB(60dB) | | | | | |